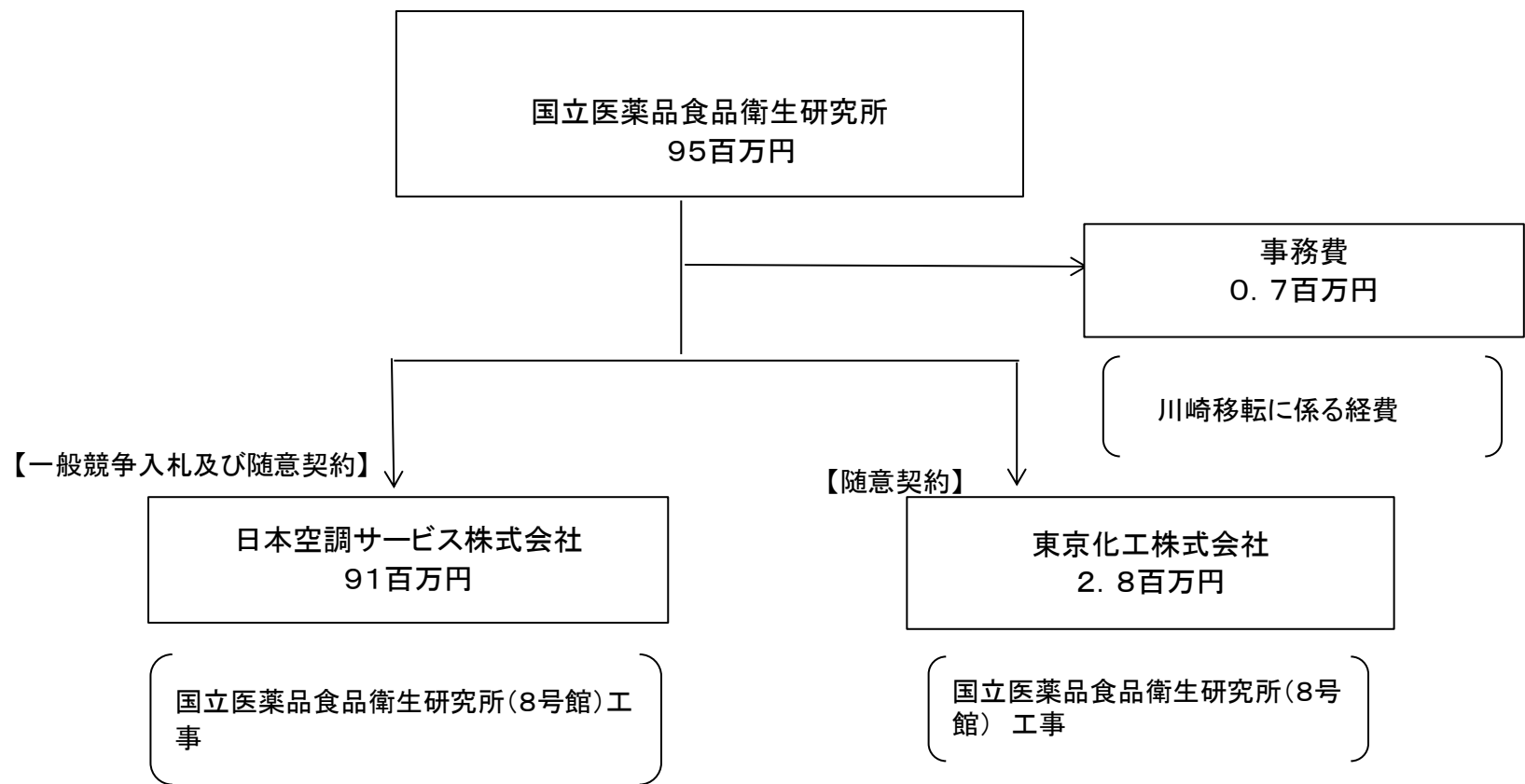


平成25年行政事業レビューシート

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和21年度		担当課室	総務部会計課		岡村 真一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「多極分散型国土形成促進法」に基づく「国の行政機関等の移転について」の閣議決定(昭和63年)		関係する計画、通知等	「国の庁舎等の使用調整等に関する特別措置法第5条」に基づく「東京23区内に所在する庁舎移転・再配置のための単独庁舎」特定国有財産整備計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	昭和63年の閣議決定に基づき、世田谷区上用賀から東京23区外へ移転するため、具体的な研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的とする。 老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保するため、施設整備を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	早期移転を目指して、移転先用地購入にかかる不動産鑑定等を行う。 老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保し、研究機能を維持するための施設整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	9	97	96	22	1969	
	執行額	/		95	95	/		
	執行率(%)	/		98%	99%	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。		成果実績	%	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な活動指標を設定することはできない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	0.8	1.8					
	施設施工庁費	11	3.6					
	施設整備費	10	1965					
計	22	1969						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国立医薬品食品研究所は国民の健康と生活環境を維持・向上させること等を目的に研究等を行っており、当研究所の施設管理等を行うことは国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の試験機関であるため、国が主体となって実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保するため、施設整備を行うことは優先度が高い。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	真に必要な経費のみ支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	効果の高い館内全体の空調改修工事も検討したが、移転が決定している現施設において費用対効果を鑑みた結果、必要最小限の改修工事を実施した。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	施設の老朽化、経年劣化に伴う不具合が生じる可能性が懸念されていたが、本事業を実施したことにより研究を円滑に実施できた。	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化・経年劣化に伴う不具合により研究業務を停滞させることがないよう必要な施設の整備を行った。 ・経費の執行にあたっては、執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、適正な執行に努めている。 					
	外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業は、国の行政機関の移転に係る閣議決定等に基づく国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	577	平成23年	526	平成24年	466

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本空調サービス株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	国立医薬品食品衛生研究所 8号館3・4階 動物実験室設備改修工事等	91			
計		91	計		0
B.東京化工株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	国立医薬品食品衛生研究所 8号館ボイラー 工事	2.8			
計		2.8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本空調サービス株式会社	国立医薬品食品衛生研究所 8号館3・4階動物実験室設備改修工事	90	1	95.99%
2		国立医薬品食品衛生研究所 8号館3・4階動物実験室系統温水配管用バルブモーター交換工事	0.9	随意契約	
3		国立医薬品食品衛生研究所 8号館2階機械室電空変換器更新工事	0.2	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京化工株式会社	8号館1号ボイラー溶接整備	1.4	随意契約	
2		8号館2号ボイラー溶接整備	1.4	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川崎市	国立医薬品食品衛生研究所移転に係る事務経費	0.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					